

高機能化学合成



●合成染料・蛍光増白剤・特殊機能製品等の開発・製造

株式会社日本化学工業所

▶TEL: 073-422-3114 FAX: 073-424-7330

▶URL: <http://www.nikka-c.co.jp>

ここが
スゴイ!

200件の内外特許を取得し、その内2割を実用化 研究開発型メーカーとして、時代のニーズに合った商品を生み出す

従業員の約2割が研究・開発に携わり、商品の約9割が自社開発製品。高品質な環境対応型染料や蛍光増白剤などの改良・開発を強化し、光遮蔽剤、光開始剤、光増感剤、特殊色素等の電子材料や新エネルギー分野向けの特殊機能製品にも積極的に取り組む。高精細なプリント基板用の新規な光重合開始剤は、既に国内特許を取得、試作段階にある。こうした研究は、和歌山県「先駆的産業技術研究開発支援事業」に採択されるなど、地域内外で注目されている。



蛍光増白剤と分子構造。



工場内の生産設備。染料、蛍光増白剤等が製造されている。

事業概要と躍進の契機

合成染料発祥の地、和歌山で、染料の製造からスタート

第一次世界大戦時、ドイツからの輸入が滞った染料の国産化が進められ、大正9年に合成染料の製造を始める。現在は製紙・パルプ用を始めとする各種合成染料、合成繊維や合成樹脂用等の蛍光増白剤、電子部品やメッキ助剤用等の特殊機能製品の開発・製造に取り組み、関連会社の日化株式会社が販売を行っている。

会社の強み・主力商品など

他社に先駆けて、様々な用途に対応する素材を次々と開発

国内では、製紙・パルプ用有色染料の液体化をいち早く実現。その品目に関しても、大手メーカーに次ぐ国内シェアを誇る。ポリプロピレン繊維用の蛍光増白剤や、塩基性染料としては、純度の高い精製されたパルプにも十分な染色効果がある黄色染料の開発に世界で初めて成功する。

今後の事業展開

国内ユーザーを中心に、高品質な製品を安定供給する

いろいろな業界に顧客を持ち、経営安定化を図っている。専門商社との連携を保ちながら、営業・技術・製造・物流が情報を共有し、さめの細かいユーザーサービスを徹底する。産官学連携や他社との共同研究にも力を入れ、高性能・高品質の製品の開発に取り組んでいる。

●企業プロフィール

〒641-0007 和歌山県和歌山市小雑賀1丁目1番11号
代表取締役 田中俊一
創業:1920年(大正9年) 設立:1958年(昭和33年)
従業員数:80名
資本金:1,500万円

企業メッセージ

「額に汗して、よりよい商品を製造し、より多くの人々に喜んでいただく」という創業立志の理念を、90余年受け継いで参りました。企業で働く一人ひとりが健全であって初めていい仕事ができ、企業全体では「独創的な、よりよいモノづくり」が実現できると考えます。

代表取締役 田中俊一



■用語解説

塩基性染料:水溶性染料のうち、染料イオンが塩基性を示す染料の総称。鮮明な色相と高い染色力を持つ。